



第1918回 例会

2013-14年度RI会長:ロンD・バートン
 第2640地区ガバナー: 久保 治雄
 創立:昭和49年5月15日
 会長:竹村 英一
 幹事:後藤 信博
 会報:谷本 司



VOL40 No. 30

2013年 2月19日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 竹村 英一 会長

唱 歌

“見上げてごらん夜の星を”
 野村 憲司 君



ゲスト

カルチャー of キッズ
 代表 杉本祐子様 理事 國光圭子様

出席報告			
会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	4名	12名	74.47%
2月5日修正出席率 91.3%			
1月平均修正出席率 93.06%			



ニコニコ箱

(敬称略)

◇カルチャー of キッズ 杉本様、國光様 ようこそ。
 愛須、後藤、畑地、本田、泉、片井、木村、楠本、丸山勇、森本、野村、岡本、佐田、武田、竹村、玉置、上原、早稲田、山本、安井、吉本

- ◇早退お詫び申し上げます。 橋本
- ◇奥様誕生日 西谷
- ◇お花頂きます。 谷中

会長報告

■本日のお客様は、カルチャー of キッズ 代表 杉本裕子 (すぎもと ゆうこ) 様と、理事 國光圭子 (くにみつ けいこ) 様をお迎えています。後ほど宜しくお願い致します。

■2月12日(水)、40周年記念ゴルフ委員会の打合せが行われました。出席していただいた皆様、ご苦労様でした。

■田辺ロータリークラブより創立60周年記念誌が届いています。

■2月12日の定例理事会の報告を致します。

- ◎ロータリー財団補助金の件…承認。
 計画書等書面作成し、5年間保存する。
- ◎40周年事業の予算を今年度の委員会予算より協力可能とするかについて…用途を定め、各委員会で協力する。

- ◎4月2日(水)を移動例会とし、ハナヨさんにてリハーサルをすることについて…了承。多数参加を促す。
- ◎坂本会員より2640地区米山小委員長の任期を来期の3月末まで継続要望…了承。
- ◎3月2日(日)の米山記念奨学生修了式に、坂本君が地区委員として、クラブカウンセラーの畔田君とクラブ米山委員長の片井君も出席する件…了承。
- ◎職業奉仕として移動例会の件…5月28日を予定する。
- ◎田辺はまゆうRCとの合同例会について…今回は見送る。
- ◎4月からの弁当代の消費税増税の件…金額変わらず、中身で調整。
- ◎クラブ会長会議の懇親会の件…了承。
- ◎新庄防潮堤の件…畔田会員が立ち会う。
- ◎3月27日(木)のジュニアゴルフの協力をメイクアップとする件…了承。
- ◎田辺西バイパス開通記念イベントの件…社会奉仕事業として30,000円協賛する。

副会長報告

■竹村英一会長が(財団恒久基金1000ドル寄付により)ベネファクターになりました。国際ロータリー日本事務局より認証品が届いていますのでお渡しします。



幹事報告

■例会変更

◎特になし

■メイクアップ

◎2月12日(水)定例理事会

後藤君、本田君、木村君、畔田君、沖君、佐田君、竹村君、谷中君、玉置君、山本君

◎2月12日(水)40周年事業委員会

愛須君、後藤君、佐田君、坂本君、武田君、谷中君、玉置君

◎2月14日(金)白浜RC

西谷君

◎2月14日(金)泉州KUMATORIロータリークラブ

前田君

■回覧

◎週報「田辺RC」

◎「田辺ロータリークラブ創立60周年記念誌」

◎「よねやまハイライト167号」

◎国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所様より
「田辺西バイパス開通式のご案内(案)」

◎辻ガバナーエレクト事務所より

「米山記念奨学生の世話クラブとカウンセラーのお引受けについてのお願い」

◎ガバナー事務所より

「ロータリーの誕生日ラジオ放送のご案内」

「ロータリー活動の公共イメージ向上作戦」

◎和歌山城南RCより

「御報告並びに今後の対応と追加公開質問」

(参考資料：地区組織図12月5日版と最新版)

「指名通知の不当性(その1)」

「指名通知の不当性(その2)」

「緊急御連絡」「指名通知の不当性(その3)」

◎2014-2015年度版 ロータリー手帳の申込表

本日の例会を締切とします。今年度と同じサイズで製作しています。申し込みをまとめて注文します。

支払はクラブ経費です。

◎40周年記念事業委員会より4月27日(日)開催のJCとの協賛事業の時に着用するTシャツのサイズ表と申込表

◎上原会員より随筆集『土』を寄付して頂きました。

◎R情報委員長 西谷 次彦君

2640地区の情報が届いています。詳しくは回覧を回していますので、確認下さい。



◎40周年記念ゴルフ委員会 武田 静也君

ゴルフ委員会では記念ゴルフ大会の参加賞並びに、景品を募集しています。ご協力よろしくお祈いします。



本日のプログラム

カルチャー of キッズ

代表 杉本裕子様



私は、カルチャー of キッズの代表をしております杉本と申します。

本日は、例会の貴重なお時間に、私達の活動を紹介させて頂く機会を頂き、大変ありがたく、嬉しく思っております。どうぞ、宜しくお祈い致します。

まず、カルチャー of キッズの発足の経緯と、今までの活動についてお話させていただきます。

私たちカルチャー of キッズは、旧田辺親子劇場、現NPO法人南紀こどもステーションのOB5人が発起人となって、2006年に立ち上げた非営利の市民活動団体です。文化芸術鑑賞を通じて、地域子ども達が、感じる力、考える力、創造する力を育む助けとなるような活動をめざし、子ども文化の保護を目的として参りました。また、親子で芸術作品と一緒に共感することで、より暖かい親子の絆を確立することも目的としています。

30年ほど前は子どものための芸術鑑賞活動も活発で、校区ごとの縦割りの行事なども多くあり、私達は恵まれた環境で子育てをする事が出来ました。しかし、昨今は、少子化やライフスタイルの変化、ゲーム機やパソコンなど、子どもたちを取り巻く遊びの変化に伴い、芸術作品に触れる機会がぐんと減ってきているのを見て、子どもたちに、生の舞台の素晴らしさを見せてあげたいとの思いから、カルチャー of キッズを発足させた次第です。

第1回目の活動として、2006年11月に劇団風の子の「ブレイメンの音楽隊」の公演を、取り壊しの決まっていた第一小学校の古い講堂でおこないました。

委員会報告

◎社会奉仕委員会 玉置 和男君

3月15日(土) 10:00~

田辺西バイパス三四六交差点にて開通式が行われます。当クラブからは30,000円の寄付をしています。





とてもシンプルな舞台ですが、子どもたちの想像力は素晴らしいもので、それを見た男の子は、翌日、三輪車にのって、「おばちゃん、ブレーメンへ行ってくるわ〜」と出かけたそうです。



この表情をご覧ください。こんな、子どもたちの表情を見ると、質の高い本物の芸術作品を鑑賞する機会を提供し続けなければならないと強く思いました。

2回目は、2008年5月に同じ劇団風の子の「お月さまとゴージュ」の公演をひがしコミュニティセンターで行ないました。



3回目は、2009年9月、アメリカから招聘した、「スノーブレイク」という無言のひとり芝居の公演です。この公演は、田辺から発信して、全国12か所での公演が実現しました。



このような私達の活動を田辺市教育委員会が認めて下さって、2012年3月には、共催というかたちで、子ども向けオペラ「森は生きている」の公演が文館大ホールで実現しました。都会なら、チケットが4000円を超えるような大きな作品は、子ども達に見せたいと思ってはいても、

なかなか私達の力だけでは実現できず、田辺市との共催があってこそ、大人2000円、子ども1000円という低価格でご覧いただくことができました。

さて、このような鑑賞活動を続けていく中で、もっと、子どもたちが、日々の生活の中で自主的に、想像力を育む機会が得られないかを考えた時、「本」の存在に気付きました。「芸術作品を見る」という受け身から、「自分で手にとって本を読み、想像力をふくらます」そんな能動的な機会を子どもたちにもっと持ってもらいたいと考えました。折しも、田辺市立図書館が新しくなり、素晴らしい施設に皆の関心が高まっている時に、古くから田辺市周辺で読み聞かせの活動をしている「マメ子田辺お話の会」の皆さんにご協力をいただいて、「田辺っ子、新図書館に集まれ！」と「大人も集まれ、新図書館に！」というイベントを開催しました。もちろん、田辺市立図書館の協力、子どもゆめ基金の助成金があるのですが、2012年9月にたなべの建物のいたるところで、お菓子の家作りの工作あり、読み聞かせあり、糸操りの人形劇あり、読み聞かせについての大人向けの講演会あり、と盛りだくさんの内容でした。

このイベントをきっかけに新図書館を訪れる子どもたちの数が格段に増えたと聞いています。



そして、今年は、より能動的な「遊び」について、考えていきたいと思っています。子どもたちは、今、豊かな物資に恵まれ、情報と映像に溢れた現代社会の中で、情報をキャッチしたり、情報機器を使いこなすスキルを手に入れています。しかし、一見素晴らしい文化生活の中に、コミュニケーション能力や協調性の欠乏が見られます。それは、危機的状況であるとも言われています。私たちカルチャー of キッズは、子ども達が感性豊かに育ち、幸せな笑顔いっぱい暮らせるように、活動が続けて行きたいと考えています。では、具体的に、今後の活動について、國光からお話させていただきます。

理事 國光圭子様



この度は、田辺東ロータリークラブの皆様、カルチャー of キッズの活動をご紹介させていただき好機を頂戴し、心からお礼申し上げます。

カルチャー of キッズは、2006年夏に発足以来、高い質の芸術作品のみを選び、田辺市内、及び周辺の子ども達に提供してまいりました。毎回満員御礼の企画となり、何よりも子ども達の楽しそうな笑顔に支えられて、ボランティアスタッフと共に活動を続けてまいりました。

今年度は、とりわけ「遊び」に焦点を当て、子ども達に表現遊びの楽しみを知ってもらい、「遊び」の中で成長してもらいたいと考えています。今、子ども達の遊びは、ともすれば、室内でテレビゲームをする、塾で友達と話すといったことになっています。「遊びを通じて信頼関係を築く」また、「人生の疑似体験をする」といった、昔なら当然であったことが激減し、「遊び」の本質が変わりつつあります。「NPO法人 あそび環境Museumアフタフ・バーバン」の代表北島尚志氏は、「子どもは遊ばなくてはならない！」と断言するような、危機的状況にある」と語っています。一方、大人の世界においても、心と心を通い合わせるような「遊び」を、大人自身が知らないゆえに、子ども達に伝えることができず、子育てに大きく影響しています。子ども達の適応力やコミュニケーション力の不足、つまり生きる力の不足は、「遊び」の経験不足からやってくると考えます。

以上のような視点に立って、今年度は、東京から、「NPO法人 あそび環境Museumアフタフ・バーバン」という「遊び・表現活動のプロフェッショナル」を招聘し、以下の企画を予定しております。

*2014年3月24日(月)「シアターうん・どうかい」
幼児と保護者・低学年の子ども達対象
(*他団体の企画と同時期に行うため、
低予算で実現できます)

*2014年9月5日(金)～8日(月)
「遊べや、遊べ!世代を超えて」(仮題) 予定
お年寄・障害児・小学生・大人対象
田辺市地域保健福祉推進補助金の申請を予定

*2015年3月27日(金)～31日(火)
「広がれ、あそび心!」 予定
幼稚園・小学校の子ども達 + 大人対象
主催: NPO法人南紀こどもステーション
カルチャー of キッズ協力
日本たばこ産業助成金 申請中

しかしながら、2014年9月の「遊べや、遊べ!世代を超えて」は、お年寄や障害児中心の企画のため、また予算的にも、子ども達対象の忍者修行は組み入れることは難しい状態にあります。さらに2015年3月に実施予定の企画に対して、助成金が付与されない場合には、子ども達の「遊び」の機会はなくなります。そう考えると、子ども達のために、そして子どもに関わる大人や次世代の指導者のためにも、どうしても9月の企画に子ども達の忍者修行を加えたいと考えます。9月の企画に組み込むことができれば、単独で招聘するよりもはるかに安い予算で実施でき、また、アフタフ・バーバンのスタッフも揃うので、より充実した企画となって、子ども達に遊びの大切さを感じてもらえる機会となるでしょう。アフタフ・バーバンの「遊び」の企画は、お金も時間も人手もかかる割に、大多数の子ども達を対象にすることができません。しかしその分、一人一人の子ども達が、内容の濃い時間の中で、心の中にしっかりと刻まれる企画であるというメリットがあります。

もしも、田辺東ロータリークラブに、何らかの援助をお願いできるのであれば、それは、田辺市周辺の子ども達が感性豊かに育つために大きなサポートをしていただく、ということになります。未来を担う子ども達のために、ご一考くださいますよう心よりお願い申し上げます。

変な人たちが出現!

右から くノ一紅(杉本様)、忍者ハリマオ(佐田君)
むらさきなすび(本田君)、からくさミドリ(野村君)



忍者らしいのだが・・・



認知症防止のための運動、なぜかみんな真剣にやっている



楽しいひと時でした。